

地域医療連携室

フレンディーだより

Community medicine cooperation room



大腿骨頸部骨折
新川地域連携パス症例検討会(H20.9.3)



2008

vol. **28**

H20.9 発行

黒部市民病院 黒部市三日市1108-1

E-mail : friendly@med.kurobe.toyama.jp

病院紹介

医療法人社団 秋桜 丸川病院

副院長 丸川浩平

当院は、脳神経外科・整形外科・リハビリテーション科を診療科目として、昭和54年に開院し、私自身は平成15年に脳神経外科専門医を取得後、黒部市民病院勤務を経て、平成17年4月から父である院長のもとで診察をしております。

開院当初から県下でもいち早く脳CTを設備し、平成元年にはMRIを導入し、県東部唯一の私立脳神経外科病院として地域医療の一端を担ってきました。平成17年には頸動脈エコー、オープン型MRI、翌18年には、マルチスライスCTにグレードアップ、CAVI（動脈硬化症検査装置）を導入し画像診断機器を充実させ、日々の診療に役立てております。当院では、来院されたその日にMRIを撮影することができ、極々軽微なしびれや、単なる疲労のような症状でも、MRIを用いますと小さな脳梗塞が見つかり、これも脳梗塞の症状なのかと改めて勉強させられる症例もあり、今までCTだけの診断で、どれだけの症例を見逃してきたのかと反省させられます。

ここ新川地域では、脳疾患に対する回復期リハビリテーションを提供する施設が不足しており、地域のニーズに応えるべく、平成20年12月に新リハビリテーション棟を立ち上げ、それに伴い回復期リハビリテーション病棟開設を目指しております。本年の4月に理学・作業療法士5人が加わり、急性期から積極的に集中リハビリを提供し、その手応えを感じているところです。更に、通所リハビリテーションも併設していく予定です。当院の通所リハは、食事も入浴サービスもありませんが、心身の健康維持、パワーリハを導入した筋力強化、利用者の状態や要望に応じた個別リハの提供ならびに充実したプログラムを現在検討しています。

生活習慣病の予防、積極的に脳・血管の状態を評価し発症前診断に力を入れ、ここ新川医療圏の基幹病院である黒部市民病院を中心とし、地域の諸先生方と連携をとりながら、急性期治療から、回復期、維持期と一環した脳卒中診療を提供できるよう邁進していく所存です。どうぞ、よろしくお願いたします。



丸川病院 周辺案内図



診療時間

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~18:00	●	●		●	●	
9:00~13:00			●			●
完全予約制診療日			●			●

※休診日/日曜・祝日

所在地

〒939-0743
 下新川郡朝日町道下862
 TEL (0765)83-3391
 FAX (0765)83-1008



新川厚生センターに 就任して

新川厚生センター所長 垣内 孝子

この4月より新川厚生センター所長として赴任しました垣内です。新川地域の土地勘はないのですが、自然にめぐまれ、保健・医療・福祉等関係者のみなさまも協力的で大変まとまりのある地域であることを日々感じています。

昨今のご存じのように、医療制度改革大綱をうけ、医療機能の分化・連携の推進と切れ目のない医療提供が打ち出され、これまでの自己完結型（病院完結型）から地域完結型医療をめざす動きが活発になっています。この新川医療圏は、新川地域リハビリテーション支援センターが中心となりいち早く、3公的病院、2医師会さらに介護事業者も参加して、大腿骨頸部骨折や脳卒中の地域連携クリティカルパスを活用した地域医療連携に取り組み、その成果は、県内はもちろん、全国的にも高く評価されています。これまで積み上げてこられた地域医療連携ネットワークが着実に定着し、さらなる拡大につながるよう保健・医療・福祉等関係者のみなさまと連携を図り、地域医療連携の推進に努めていきたいと思っています。

また、近年は、自然災害、食品への毒物混入、医療機器の安全対策、新型インフルエンザをはじめとする新興・再興感染症への対応など地域住民の生命・安全を脅かす健康危機への迅速な対応が求められており、関係機関と連携を図りながら的確に対応していきたいと思っています。

これからも、みなさま方のご指導、ご協力をいただきながら、地域の方々の健康増進、福祉の向上に微力ながら努めていきたいと思っていますので、どうぞよろしく申し上げます。

診療科紹介

耳鼻咽喉科



星田茂医員(中央左)と
丸山裕美子医長(中央右)と外来スタッフ

◆はじめに

当院の耳鼻咽喉科常勤医が2名となって今年で11年目となります。いつもたくさんの患者様をご紹介・ご高配くださり、誠にありがとうございます。この場を借りてお礼申し上げます。

周囲で耳鼻咽喉科専門医が常勤する総合病院が減少し続ける今、当院の果たすべき責務を真摯に受け止め、日々の診療にあたっております。

マンパワー不足もあり皆様にはご面倒をおかけすることも多いと思いますが、患者様にとっても医療者としても納得のいく医療を心がけております。これからもご指導・ご鞭撻の程、なにとぞよろしくお願いいたします。

◆スタッフ

《常勤医2名》

丸山裕美子 (耳鼻咽喉科医長)：日本耳鼻咽喉科専門医
星田茂 (耳鼻咽喉科医員)：日本耳鼻咽喉科専門医

《非常勤医》

金沢大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科講師、頭頸部腫瘍グループチーフの吉崎智一先生が月1回来院され、手術を中心にご指導いただいております。

◆診療体制

●外来診療

		月	火	水	木	金
午前	初診	星田	丸山	星田	星田	丸山
	再診	丸山	星田	丸山	丸山	星田
午後		手術	星田 (予約制)	手術	丸山 (予約制)	手術

●受付時間

午前： 8：30～10：30

午後： 14：00～15：30 (火曜・木曜：予約制)

●予約制度について

再診：2007年4月より原則予約制を導入しています。待ち時間の短縮とスムーズな診療のためにご協力をお願いいたします。もちろん急変などによる受診はこの限りではありません。

※電話でのご予約方法：月～金曜日 14：00～16：30

事前にお電話いただければ、予約をおとりします。病院代表0765-54-2211にお電話のうえ「耳鼻科外来」におつなぎください。

初診：現在、一部予約制導入を検討中です。今しばらくお待ちください。

◆耳鼻咽喉科領域とは？

耳鼻咽喉科領域は「視・聴・嗅・味・触」の「五感」のうち4つを含んでいます。そして「呼吸器」と「消化器」の入り口でもあります。また「頸部」は頭部と躯幹をつなぎ多くの神経・血管・筋肉が走る部分です。くわえて各臓器が近接し立体構造も複雑なため、1つの病態が他の病態を生む一因にもなりえます。頭頸部領域の疾患でお力になれることがあれば、どうぞご連絡ください。

◆治療について

感覚器・運動器・呼吸器・消化器・発声などの機能をあわせもつ当領域には、多種多様な疾患が起こりえます。当領域の内科的疾患・外科的疾患全般について診断と治療をさせていただいております。頭頸部腫瘍についても対応いたします。

これらの疾患の中で、特に緊急を要する注意すべき疾患として「急性の進行性気道狭窄」が挙げられます。そしてこの多くは炎症性です。

「ツバも飲めないノドの痛み」や「呼吸苦を伴う咽喉頭痛」は深頸部膿瘍や急性喉頭蓋炎の可能性がありえます。早めの受診をお願いいたします。「ふくみ声（飴玉を口に入れたようなしゃべり方）」や「開口障害」を伴う嚥下痛・咽頭痛もご注意ください。

◆当院の特徴として…

《言語聴覚士が2名常勤しています》

- ・ 県内で複数名の言語聴覚士が常勤する病院は少なく当科の心強い味方です。
- ・ 小児について：乳幼児難聴、言語発達遅滞、吃音（どもり）の評価訓練等
- ・ 成人について：嚥下機能障害、失語症、発声障害の評価訓練など

《歯科口腔外科と連携しています》

- ・ 歯科口腔外科医が常勤していることも当院の特徴です。
- ・ 関連疾患も多く、互いに相談・協力しながら診療させていただいております。

《NBI機能付きの電子スコープ内視鏡を購入予定です》

- ・ 新しい頭頸部内視鏡を購入予定です。診療レベルの更なる向上を目指し、確実な診断と治療への反映を心がけたいと思います。
- ・ Narrow Band Imagingという光学的画像強調技術により、早期癌の発見率、腫瘍の広がりの評価や治療効果の判定レベルの向上が期待されます。

医療安全研修会

「医療におけるヒューマンエラー」

当院の医療安全研修に外部講師として自治医科大学医学部メディカルシミュレーションセンターセンター長医療安全学教授河野龍太郎氏をお迎えし、講演がなされた。

講演では指差呼称の実施を強調された。確認すべきものを指で示し、声に出して確認する。夜勤時は患者の安眠を確認するために必ずしも発語の必要はない。指差呼称を実施しているということが他の人から見ても分かるようにすることが重要である。

また、5Sの定義について話された。5S運動を通じて各人の長所をうまく組み合わせれば、集団として大きな力を発揮しチームワークを向上させることができる。

人間を知らない限り医療事故は減らない。「医療システム」を変えない限り事故はなくせない。



5Sの定義

整理：いるものといらないものをハッキリ分けていらないものを捨てること

整頓：いるものを使いやすいようにきちんと置き、誰でもわかるように明示すること

清掃：常に掃除をし、きれいにする

清潔：整理・整頓・清掃の3Sを維持すること

躰：決められたことを、いつも正しく守る習慣づけのこと



講演・勉強会のご案内

1. 新川胸部疾患検討会

日時：毎月第2木曜日

午後6：30～

午後8：00

場所：本館3階 指導室

2. オープンベッドカンファレンス

日時：偶数月の第2水曜日

午後6：45～

午後7：45

場所：本館3階 指導室

3. 内科カンファレンス

日時：毎週火曜日

午後6：40～

場所：本館3階 指導室